

学区内探検 中山道 番場宿 & 醒井宿

中山道は慶長6年(1601)から7年間で他の4街道(東海道、日光街道、奥州街道、甲州街道)とともに五街道として整備された街道です。古くは都と東国を結ぶ東山道と称されました。上野(群馬)、信濃(長野)、木曾(岐阜)、美濃(岐阜)、近江(滋賀)を経て京三条大橋まで135里32丁(約534km)69宿あり東海道とともに幹線道路でした。米原市には60番目の柏原宿61番目の醒井宿・62番目の番場宿があり、この学区には醒井地蔵尊や梅花藻で有名な醒井宿と蓮華寺や鎌刃城などで有名な番場宿があります。

醒井には問屋場の遺構が復元されています。また、日本武尊の伝説で有名な居醒の清水があります。番場には一里塚跡や米原湊への道標が残されています。

